

連絡網にて会員各位（各グループ企業）へ配付、FAX方お願いいたします。
発信番号：DNSC-0318 発信日：2003年6月5日 原稿枚数：1

会 員 各 位

（総経理・所長、駐在員の皆様）

ご家族の方にもお知らせ下さい

発信：大連日本商工クラブ
安全対策委員長

外国企業等に対するSARS説明会（6月4日）結果

大連市政府では6月4日午後2時から、市内のホテルにおいて、外国企業の代表者など約70名を対象に、SARS説明会を開催しましたので、その内容をお伝えします。

なお、大連市政府からの出席者は、洪源棟（市長助理）、梁英政（衛生局副局長）、李泊洲（外事弁公室主任）、于涛（対外貿易経済合作局副局長）でした。

1. 梁副局長による経過説明

6月4日付けDNSC-317でお知らせした「大連SARS情報」（日本語の要約及び中国語の全文）の内容と同様の説明がありました。要旨は次のとおりです。

- ① 擬似感染者（劉さん）が感染者になった。
- ② 3人の看護婦の病状は好転している。
- ③ 3人の看護婦との接触者80人に異常はない。
- ④ 全市をあげて、SARS予防対策に取り組む。

全文を翻訳（A4版、4ページ）しましたので、希望される会員は事務局までお申し出下さい。

（連絡先）安全対策委員会事務局（新潟県大連経済事務所）

担当：庭野 電話：0411-369-5458

2. 質疑応答

（1）市内の英語学校が休止となっており、教師のうち何人かは帰国を考えている。
いつから再開可能か。

（回答）今は大連から出ないでほしい。

（2）英語学校は、新規SARS感染者がどの程度の期間発生しなければ再開可能か。

（回答）SARSの感染可能性が高いのは医療関係者である。感染者である3人の看護婦との接触者は、隔離後14日が経過したが体調異常者はおらず、2～3日後には「政府」から納得できる説明ができると思う。

（3）今の回答の中にあつた「政府」とは大連市政府のことか。

（回答）そのとおり。5月20日から80人を隔離したが異常者はいない。3人の看護婦は社会と接触しておらず病状も安定してきた。社会の防止体制もしっかりやっており、安全で、安心して学習、仕事、生活できる環境を作りたい。

（以上）